

琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

2010年（平成22年）

3月7日（日）

発行所 琉球新報社

郵便番号 〒900 8525

那覇市天久905番地

©琉球新報社2010年

中部路に1万人余



スタートの合図で一斉に駆けだす参加ランナー—7日午前9時すぎ、沖縄市の県総合運動公園



トップでゴールする平良長真

【中部】「きつと出会える 人・夢・愛」をキャッチフレーズに、第18回「2010おきなわマラソン」(主催・中部広域市町村圏事務組合、琉球新報社、沖縄テレビ放送、沖縄陸上競技協会、県総合運動公園指定管理者トラステック、共催・県、県教育委員会、県高等学校体育連盟、特別協賛・佐川急便、イオンモール、オリオンビール、沖縄コカ・コーラボトリング)が7日、沖縄市の県総合運動公園を発着点に始まった。フルマラソンに1万934人、10キロロードレースに2350人の計1万3284人がエントリー。速報値で1万1253人が出場した。曇り空の中、午前9時、東門美津子実行委員会会長(沖縄市長)の合図でランナーたちは一斉にスタート。マラソンコースの中部路に向け、駆けだした。競技マラソン部門では男子は平良長真(大宜味村)が2時間28分57秒で優勝。女子の部は安里真梨子(豊見城市)が2時間45分29秒で3連覇を達成した。10キロレースは、一般男子の仲間孝大(豊見城市)が31分06秒、一般女子の田中敬子(同)が37分33秒でトップだった。

男子は平良 (大宜味村) 初V

おきなわマラソン

